

令和7年度第1回宇都宮市民大学運営協議会会議録

- 1 開催日時 令和7年4月18日（金） 午前10時から
- 2 開催場所 人材かがやきセンター研修室（中央生涯学習センター5階）
- 3 出席委員
丸山 純一 会長 野中 正知 副会長 赤羽 幸雄 委員 荒井 隆 委員
薄羽 正明 委員 大谷 佳久 委員 片桐 幸枝 委員 目加田 友子 委員
(以上8名)
- 4 欠席委員
齋藤 明彦 委員 坪山 恵子 委員
(以上2名)
- 5 出席職員
生涯学習課長 塚田 真仁
生涯学習課長補佐 横山 靖夫
家庭教育・地域人材グループ係長 加藤 裕史
家庭教育・地域人材グループ総括 吉田 泰弘
家庭教育・地域人材グループ社会教育主事 鈴木 豪
家庭教育・地域人材グループ主任主事 吉澤 直輝
家庭教育・地域人材グループ主任主事 菊池 美咲
家庭教育・地域人材グループ社会教育主事 角田 佑樹
家庭教育・地域人材グループ主事 釜井 羽依
家庭教育・地域人材グループ主事 金田 陽南子
生涯学習課会計年度任用職員 塚田 哲夫
生涯学習課会計年度任用職員 松永 佳寿子
生涯学習課会計年度任用職員 藤田 莉帆
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴者の数 0人
- 8 付議事項
 - (1) 報告事項
 - ・ 報告第1号 令和6年度宇都宮市民大学事業報告について
 - ・ 報告第2号 令和6年度宇都宮市民大学収支決算について
 - (2) 協議事項
 - ・ 協議第1号 令和7年度宇都宮市民大学事業計画（案）について
 - ・ 協議第2号 令和7年度宇都宮市民大学収支予算（案）について
 - (3) その他

(閉会 午前10時47分)

(1) 報告事項

野中副会長	6年度の市民大学にて、リピートで受けている方と、新規の方の比率についてわかれば教えていただきたい。
事務局	前期講座については、受講経験のある方が243名。無い方が90名。後期については、受講経験のある方が287名。無い方が78名となっている。
丸山会長	令和7年度の266名51名と比較すると昨年の方が新規の方割合が多いかもしれませんね。 今回は資料がなかったと思うが、以前、受講生の年代をまとめたアンケートの結果などいただいたこともあった。令和7年度も年代的には60歳以上が多いと思うが、やはりそのような傾向があるのか。
事務局	昨年度に関してだが、前期は70代の方が一番多かった。後期も70代の方が一番多く、次いで60代の受講者が多い割合となっている。
丸山会長	コロナが明けて募集定員が増えたが、講師の先生方から人数が多い少ない、やりやすいやりにくいなどの意見は出ているのか
事務局	ワークショップを行う講師の方からは、グループになって講座を実施するため、受講者数の調整が入ることはあるが、多いところに関しては現時点で意見をいただいたことはなく、引き続き受講者数を増やして継続していきたいと考えている。

(2) 協議事項

薄羽委員 事務局	前期の募集状況で人数が足りないところについては、対応はされるのか 現在各センターに設置してあるパンフレットを回収し、定員に達していない講座については、4月15日の期限を4月30日まで延長し、先着で引き続き募集を継続する旨のシールを貼り、改めて各施設や各企画者のvスタッフと連携し、更なる周知を図れるよう取り組んでいく。
丸山会長	市民大学の講座で、人気のある分野と、重要だと思いながらもなかなか受講生を集めるのに苦戦している分野があるかと思うが、vスタッフの方もいろいろと工夫して、様々な分野で興味深いプログラムを提案いただいているので、できるだけたくさんの方に受講していただきたいと思う。
荒井委員 事務局	令和7年度の事業の考え方に「オンライン配信導入の検討」と記載しているが、こちらはオンデマンドという形でよろしいか。 オンラインについては、現状の課題として、まず講師の方に資料の提供が可能か確認し、条件に応じて、オンデマンドの形にするのか、動画配信の形にするのかを調整する形になる。
荒井委員	本学でもコロナを機に様々な社会人向けの講座をオンデマンドやオンラインで行っている。その際、修了要件として出席率などで判断する場合、オンデマンドでは出席したかどうかの判断が難しく、経験した者として、その辺りを工夫して行った方がいいと思う。
目加田委員	七福人の中にも元々この市民大学のファンで何年も通っている方がいて、座学ではなくワークショップが多い講座だと、どういったことをやるのか伝わりにくいことから応募しづらいという意見もあった。各講師の先生からも、先ほど事務局が言ったように少し人数が少ないくらいの方が、相互理解にはいいと思う。
荒井委員	資料16ページに記載のある通り、今年度、後期講座を本学にて担当させていただく。市民の皆様に満足していただけるような講座にしていくのでよろしくお願いいたします。
片桐委員 事務局	前回の公開講座を聞いて、子どもたちの質問もあったかと思うが、子どもたちの参加が少なく非常にもったいないと感じた。いろいろ周知をされているかと思うが、市民大学も含めてどんなところにどの程度の周知をされているのか、勉強不足で申し訳ないが教えてほしい。また、今回水泳をやっている子どもたちに向けての周知は考えていたのか。 公開講座の周知については、例年行っており、過去の市民大学を受講した方に加え、市内の生涯学習センターなど関係施設への送付やポスターなどを作成し、市内の各小中学校に周知を行った。また、今回は講師が水泳飛込競技の代表選手榎本さ

丸山会長	んということで、スイミングスクールなどにも周知を行い、幅広い年代や受講者層に来ていただけるよう周知に努めた。 公開講座というのは、他の一般の講座に比べると、休みの日に開催されることで幅広い年代の方に来ていただける可能性があるため、市民大学に関しての周知ができると良いPR機会にもなる。今度の8月に出てくる案もそういった点も踏まえ、考えていただければと思う。
大谷委員	募集状況を見ると、集まるところとあまり集まらないところがあると思うが、歴史などはとても人気で、個人的なものや現代のものは、そこまででもないように思える。 タイトル付けが肝心であり、募集のときの小タイトルを見たら何をやるのがわかるようなタイトル付けでも違ってくる。公開講座もそうだと思うが、講師の方が何を話してくれるのか、どんなことがこの人から学べるのか、何が聞けるのかというのがわかるようなタイトルなど、皆さん目にした瞬間で判断することが多いと思う。面白そう面白くなさそうとか。タイトルにも気を使えるようになると、もっと違うようになると思う。いろいろ考えてらっしゃると思うが。 チラシだったり、例えばここ宇都宮って見た瞬間に分かるよう、目につくような、その瞬間のものは結構大切だと感じているので、そこがあるともっと伸びるのでないかという気はする。

(3) その他

丸山会長	事務局からその他連絡事項をお願いしたい。
事務局	第2回運営協議会の開催は例年どおり8月上旬を予定している。詳細は別途通知する。
丸山会長	以上で終了とする。